
IGES



SDGSとビジネス：SDGコンパスを中心に

<CRT SHE第2回ワークショップ>

2016年6月22日（水）

宮澤 郁穂

（公財）地球環境戦略研究機関(IGES)

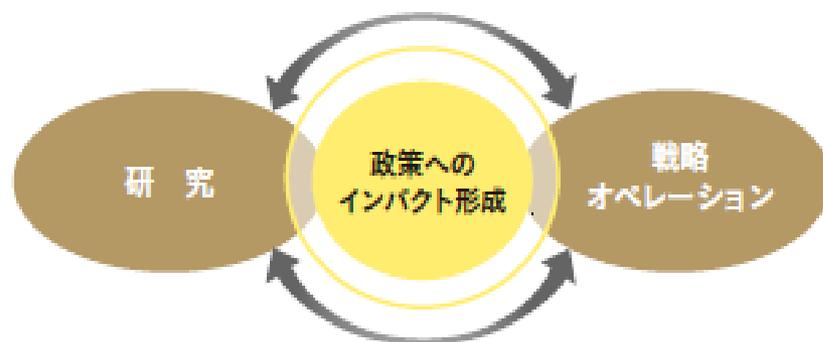
IGESについて①

- 持続可能な開発のための革新的な政策手法の開発及び環境対策の戦略づくりのための政策的・実践的研究（戦略研究）を行い、その成果を様々な主体の政策決定に具現化し、地球規模、特にアジア太平洋地域の持続可能な開発の実現を図ることを目的とし、1998年3月に日本政府のイニシアティブと神奈川県の支援により設立。
- 当初は財団法人として設立されたが、2012年4月に公益財団法人に。



IGESについて②

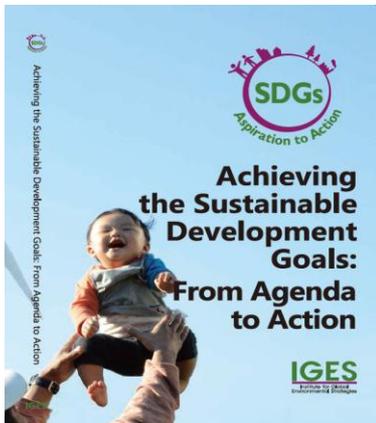
- IGESでは、政策へのインパクト形成強化を目指し、ネットワークワーキング、能力開発、知識管理、アウトリーチなどの**戦略オペレーション**を実施。



- **活動領域**：気候変動とエネルギー、自然資源・生態系サービス、持続可能な消費と生産、グリーン経済、ビジネスと環境、持続可能な都市、ガバナンス（政策統合）
- **事務所**：葉山本部、東京事務所（西新橋）、関西・北九州事務所、バンコク・中国事務所、など

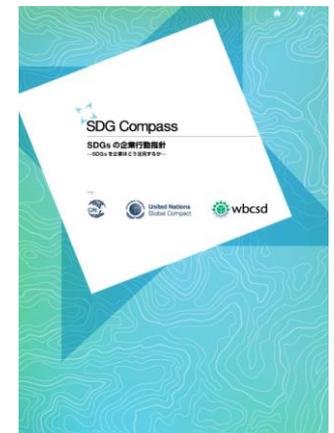
IGESの最近の主な活動

- 国際フォーラム（ISAP2015）の開催（2015年7月、横浜、参加者のべ1200名）
- G7環境大臣会合開催支援（環境省）
- SDSN JAPAN（多様な問題への包括的アプローチ）の発足
- 3R（Reduce, Reuse and Recycle）の重視
- ビジネスとのパートナーシップの強化：Japan-Climate Leaders Partnership（J-CLP）、Global Compact Network Japan（GCNJ）など



IGESのSDGSに関する活動

- SDGs国際交渉プロセスをフォローし、各国意見や動向を分析、政府への提言など
- SDGs策定後は、G7諸国やアジア諸国の実施状況に関する調査を実施
- 都市、CSO/NGOや企業など多様なステークホルダーとの連携強化
- ビジネス関連では、
 - ◆ **SDGコンパス**をグローバルコンパクトネットワークジャパンと共同翻訳・発表（2016年3月）
 - ◆ SDGsと企業関連のセミナーの開催や情報発信を継続



MDGsとSDGsの比較

MDGs (2000-2015)	SDGs (2016-2030)	
目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅	目標1: 貧困をなくす	目標10: 格差の是正
目標2: 初等教育の完全普及の達成	目標2: 飢餓をなくす	目標11: 持続可能なまちづくり
目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上	目標3: 健康と福祉	目標12: 持続可能な消費と生産
目標4: 乳幼児死亡率の削減	目標4: 質の高い教育	目標13: 気候変動へのアクション
目標5: 妊産婦の健康の改善	目標5: ジェンダー平等	目標14: 海洋資源
目標6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止	目標6: きれいな水と衛生	目標15: 陸上の資源
目標7: 環境の持続可能性確保	目標7: 誰もが使えるクリーンエネルギー	目標16: 平和、正義、有効な制度
目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進	目標8: ディーセント・ワークと経済成長	目標17: 目標達成に向けたパートナーシップ
	目標9: 産業、技術革新、社会基盤	

SDGSの評価

- 持続可能な開発（SD）は、1992年のリオ会議以降、国際的な場なイシューとなったが、概念が抽象的で、必ずしも効果的な実施は実現せず。
- リオ+20でSDGsを作成し、時間を切った定量的な目標を少数選定し、実施に向けた世界的なイニシアティブにしようとしたことは評価。
- SDGsは、17目標の下に169ターゲットもあり、時間を切った定量的な目標とならなかったものも多数あり、当初構想されていたものとは、必ずしも一致せず。
- SDGs実施の進捗を図るための指標、データ収集・分析やモニタリング枠組みも重要。国際的には、アラブ首長国連邦主導のAbu Dhabi Global Environmental Data Initiative (AGEDI)がUNEPなどと連携して、SDGs実施のためのデータに関する会議Eye on Earth Summit 2015を先行開催 (<https://agedi.org/>)

SDGS実施の主な課題

1. 開発協力への貢献：途上国における実施を支援

- 基礎的能力の構築・強化（データ収集、政策立案）
- 技術の移転
- 資金の援助



2. 地球規模課題への対応：多様なアクターの動員と連携

- 都市も重要な役割、都市間連携を
- 企業にとっても、市場拡大、雇用創出の好機に（貧困、教育等）



SDGS 実施プロセス (IGES案)

SDGsとは?

1

改善を行う

- ・ 進捗の評価
- ・ 行動計画の改訂

はじめに

- ・ 既存計画との関連性
- ・ 優先分野の検討
- ・ キャパシティの検討

5

2

実施を開始する

- ・ 行動計画に対する実施手段（資金、技術、キャパシティ等）を配分
- ・ 行動開始

実施に向けての準備

- ・ 活動の選定
- ・ ターゲット・指標の設定
- ・ 行動計画のドラフト・改訂

4

3

セクター別の知見のインプット
(例：水、廃棄物、大気汚染、交通、
エコシステム)

SDGS実施に向けた世界の動き 国レベルでの準備状況（G7諸国）

G7諸国	準備状況
アメリカ	検討中。ホワイトハウス、国務省、USAIDが主要な役割か。EPAの役割は環境分野（SDG12,13,14等）に限定的。
カナダ	検討中。ゴール・ターゲット・実施戦略を含む既存のFederal Sustainable Development Strategy (FSDS)があり、3年毎に見直し。次期間は、2016-2019。
イギリス	DFIDが全体調整。UK Government's manifesto、UK Aid Strategyが指針。各省（または複数の省が共同で）が担当分野のSDGsに責任を持つ予定。環境分野に関しては25 Year Environment planを採択予定。
ドイツ	メルケル首相のリーダーシップの下、 全ての省庁が実施に参加。National Sustainability Strategyを実施のフレームワークとし、今年の10月までにSDGsを反映。
フランス	既存の国家政策を基に枠組み文書を準備中。近年採択されるEnergy Transition for Green Growth Act、Bill on Biodiversity Regrowth, Nature and Landscapes が重要。
日本	内閣府にSDGs推進本部を設置（2016年5月）。環境省主導のマルチ・ステークホルダー・ダイアログを実施予定（FY2016~）。

SDGS実施に向けた世界の動き

国レベルでの準備状況（アジア諸国）

アジア諸国	準備状況
ブータン	National Happiness Commission Secretariatが担当。貧困削減、気候変動対策、生物多様性保全を重視。
インドネシア	National Planning Agency (BAPPENAS) がSDGs実施の調整機関。国家SDGs調整チームを設置、サポートするための国家SDGs事務局も設置予定。中期開発計画2015-2019にSDGs指標を反映。SDGs国家行動計画及びSDGsロードマップ2016-2030を作成中。SDSNを設置。
カンボジア	16省庁にまたがるNational Council for Sustainable Development (NCSD)がフォーカルポイント。その業務をGeneral Secretariat of Sustainable Development (GSSD)が監督。SDGsを国家戦略開発計画(2014 - 2018)に統合。
マレーシア	Economic Planning Unit (EPU) がフォーカルポイント。平均世帯収入の増加を重視。SDSNを設置。
タイ	National Economic and Social Development Board (NESDB)がフォーカルポイント。学校のカリキュラムにSCPを取り入れるなど、SCPへの関心が高い。第12次国家開発計画にSDGsを統合。
シンガポール	Ministry of National Developmentがフォーカルポイント。優先するSDGSは、Sustainable Singapore Blueprint (2015 - 2030)による。追加する 이슈は無し。

途上国における実施に関する共通課題

先進国/新興工業国/後発
開発途上国のそれぞれの
優先課題の検討

- 政策立案支援

実施手段（特に資金面）
の担保

- 資金援助
- 技術移転
- キャパシティ

SDGs

グッドガバナンス

- データ収集・利用能力の構築・強化
(PDCA)
- 企業の参画
- 都市間連携（南北・南南協力）等

基本的アプローチ

- セクター間のネクサス/インターリ
ンケージ

SDGコンパス（2015年9月）

SDGコンパス：各企業の事業にSDGsがもたらす影響を解説、持続可能性を企業の戦略の中心に据えるためのツールと知識を提供

- SDGsを、企業戦略、ゴール、活動などを立案し、運用し、周知し、報告する上で、それら全体を包括する**フレームワーク**として利用

- ✓ **市場拡大、雇用改善の好機に：**

- 将来のビジネスチャンスの見極め
- 企業の持続性に関わる価値の増強
- 利害関係者との関係の強化、新たな政策展開との同調
- 社会と市場の安定化
- 共通語および共有される目的の活用

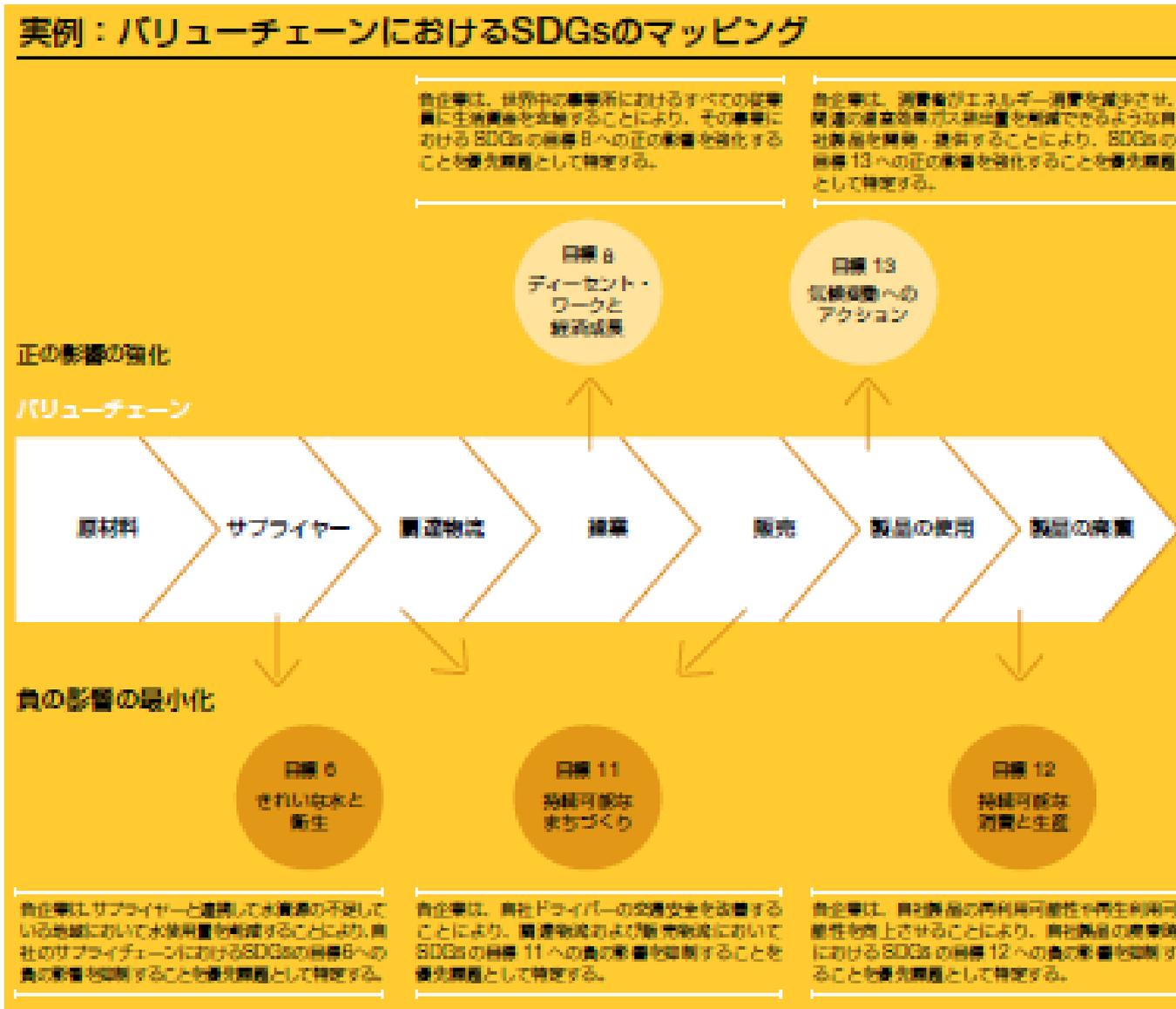


- **意欲度の高い目標設定が重要**

- ✓ ベースラインを基準にした予測達成度を大幅に上回る目標や達成させる道筋もはっきりしない目標を設定することで、イノベーションや創造性を促進、宣伝効果も生む
- ✓ 「アウトサイド・イン」のアプローチ：「科学に基づく」目標設定
- ✓ 気候変動分野で支持を集めている：Science Based Targets Initiative, Future-Fit Benchmarks etc.

優先課題の特定：

バリューチェーンをマッピングし、影響領域を特定する



意欲的な目標の設定： アウトサイド・イン・アプローチ

実例：目標設定アプローチの採用

インサイド・アウト・アプローチ

目標設定に対し、内部中心のアプローチを取る今のあり方では、世界的な課題に十分対応することができない。



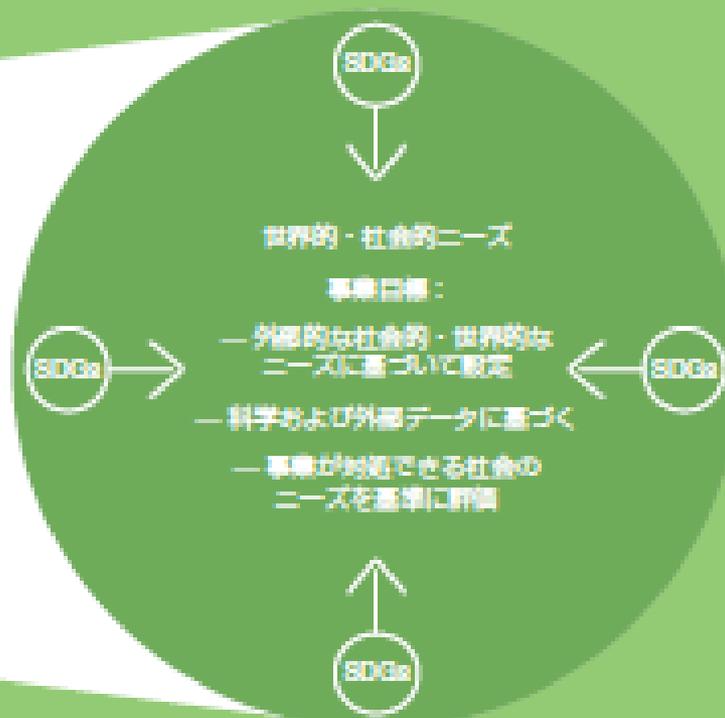
達成度のギャップ

世界的な課題に対する現在の事業達成度と求められる達成度にはギャップがある。

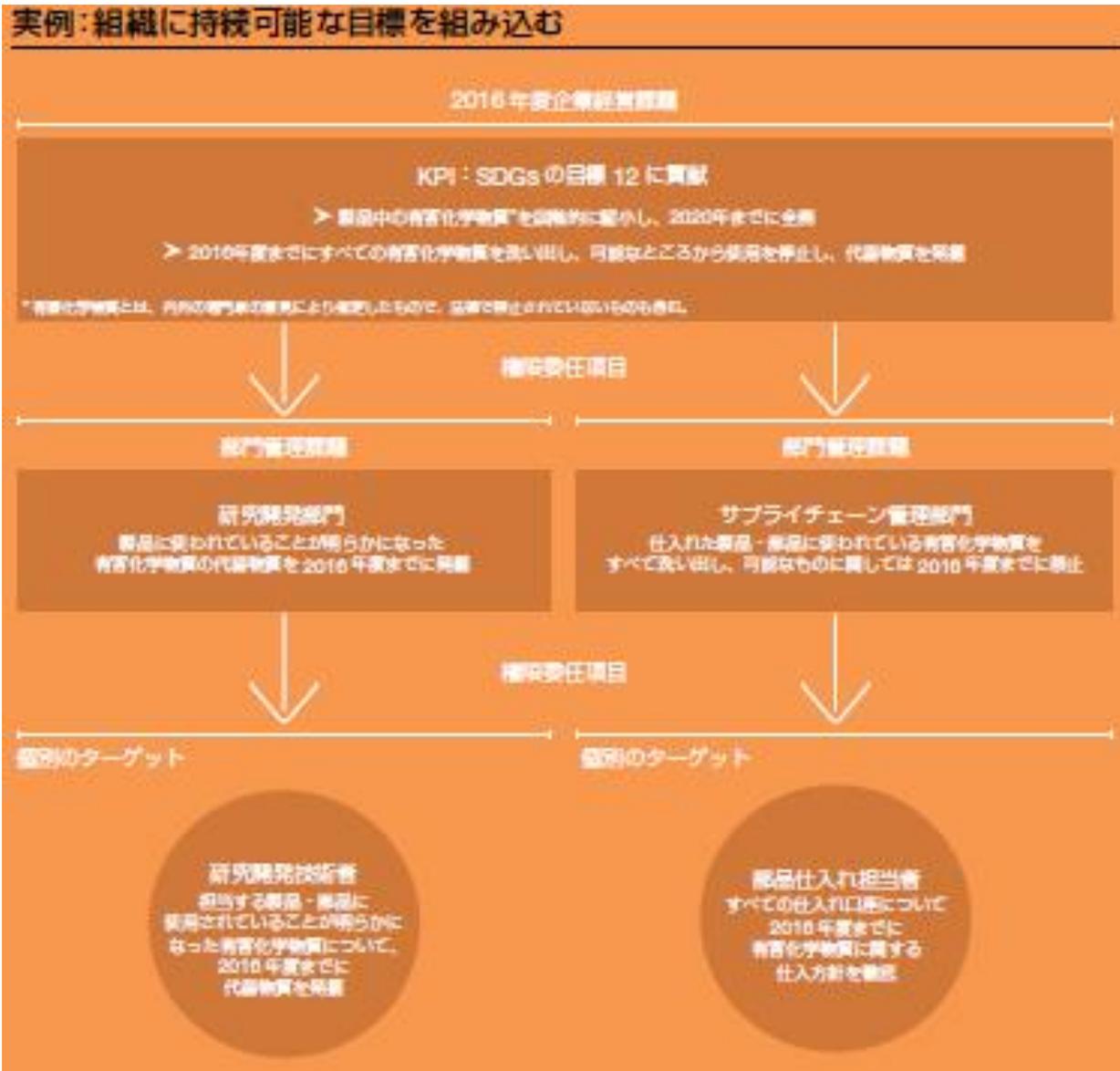
アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

SDGsは、国際的に置ましい側面点に關しての precedents な政治的合意である。



SDGsを経営に統合する： 社内で持続可能性を統合する（組み込む）



SDGS実施に向けた世界の動き： 企業の実施状況①

主な国際イニシアチブ	活動内容	参考URL
The Global Commission on Business and Sustainable Development (WBCSD)	2016年1月に発足。ハイレベル・イニシアチブ。SDGsの達成に向けて、企業が新たなビジネスモデルを構築していくための調査や方向等を行う。	http://www.wbcsd.org/new-global-commission-to-put-business-at-the-centre-of-sustainable-development.aspx
Business for 2030 (米国国際ビジネス協議会：USCIB)	SDGsを実施している企業事例を紹介（ゴール毎の事例を分かりやすく記載）。	http://www.businessfor2030.org/business-sdgs/  BUSINESS FOR 2030 FORGING A PATH FOR BUSINESS IN THE UN 2030 DEVELOPMENT AGENDA <small>An initiative of the United States Council for International Business</small>
Business Call to Action	主要ドナー機関（欧米系）による多国間アライアンス。2008年に発足。持続可能な開発に関する企業事例を紹介。	http://www.businesscalltoaction.org/ 
UN Global Compact's Local SDG Pioneers Campaign	SDGsに貢献する地域の企業活動やリーダーをノミネートし、表彰を行うキャンペーン。	https://www.unglobalcompact.org/what-is-gc/our-work/sustainable-development/sdgpioneers

SDGS実施に向けた世界の動き： 企業の実施状況②

「SDGsは持続可能な開発の達成に向けたビジョンとロードマップである。コアビジネスなしに実現しない。」

by ユニリーバ、Paul Polman氏

- 2050年までのCO2削減目標を掲げる企業の増加
- 科学的根拠に基づく長期目標を推進する国際イニシアチブ「*Science Based Targets Initiative*」への加盟企業が155社に（2016年5月）
- 自社エネルギー資源を100%再生可能エネルギーに転換することをコミットした企業も65社以上に（2016年6月）
- *Business Call to Action (BCTA)* への参画企業も増加中



GE ヘルスケア： 持続可能なヘルスケア・ソリューション

3 すべての人に
健康と福祉を



- 新たに**持続可能なヘルスケア・ソリューション(SHS)ビジネス**を構築。
- ヘルスケアへのアクセス等に苦しむ世界の人々5.8億人が対象
- 新興市場において**低コスト技術の提供を通じて健康状態の改善に貢献**.
- **SDG3の実施に向けて**、300万USDをSHSに投入。
- SHSは、新興市場において、技術だけでなく、**ビジネスモデルやパートナーシップのイノベーション**を目的とする。



Vscan Access--Courtesy of GE Healthcare



シティグループ (Citigroup) 再生可能エネルギーとエネルギー 効率への融資

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



シティグループのGHG排出量削減目標:

- 2020年までに、2005年を基準に35%、エネルギーと水の使用量を30%、廃棄物を60%削減
- 2050年までに80%削減(長期目標)

- 気候変動対策や環境保護などの持続的成長支援のための案件を**今後10年間で総額1000億ドル**相当実行と発表(2015年2月)。
- **再生可能エネルギーやエネルギー効率向上**に向けた資金調達分野で業界のリーダーに。
- 持続可能な輸送手段等における温室効果ガスの削減や資源効率向上を目的とした資金調達にも貢献。
- 米国の官民イニチアチブである**Warehouse for Energy Efficiency Loans (WHEEL)**へ参画し、公共住宅におけるエネルギー効率低価格ローンプログラムを実施。





TOTAL, Google, Facebook etc.



• TOTAL



- 気候変動リスクは放置できない。脱低炭素が重要。(COP21における発言より)
- 既に石炭から撤退。天然ガスを主力ビジネスに。
- 自社の大きな政策転換を進めている。

• Google/Facebook



- 「CSR」「環境」を越えて、自社使用電力の100%再生可能エネルギー化を決断。
- これは「社会貢献ではなく採算等を踏まえたもの」。



Alliance for Affordable Internet (A4AI)

- すべての人々が手ごろなインターネットにアクセスできることを目指す官民連合「Alliance for Affordable Internetイニシアチブ」のメンバーを務める。
- Ericsson, Facebook, Intel, Microsoft, and Yahooが参加。
- 国連ブロードバンド委員会の「月収の5%以下の価格でエントリーレベルのブロードバンド・サービスを提供する」というターゲットを達成するために、価格低減に関する政策やベストプラクティスを共同検討。
- ナイジェリア、ガーナ、モザンビーク、ミャンマーなどの途上国政府と公式な協力関係を構築中。インターネットを手頃な価格でアクセスを可能にするための課題やその成功事例などに関する報告書も出版。



A4AI ALLIANCE FOR
AFFORDABLE INTERNET





- エネルギー節約のために、**消費者の低温洗濯を推奨**。
- **2020年までに全ての洗濯機の70%を冷水使用に切り替えるという目標**を設定(2010-2014年で冷水洗濯が38%から53%に増加)。
- 特に欧州では、消費者教育のための「I Prefer 30°C」キャンペーン等の宣伝効果があり、成果を上げている。
- エネルギー効率の良い洗濯機の製造のため生産過程でも冷水使用の利点等について教育を実施している。





旭化成の持続可能なビジネス： マルチ・ベネフィット・アプローチ

- 再生セルロース繊維（キュプラ繊維）「ベンベルグ」を持続可能なビジネスへ。
- BCtAプロジェクトを通して、2020までに、インドで**キュプラ繊維の染色・縫製現場の改善**を目指す。
- 40万米ドル（約4,300万円）を投じ、2016年から2020年にかけて、**700人の若者に技術トレーニングを実施予定。その75%は女性が対象。**
- キュプラ繊維の原料であるコットンリンターからの繊維抽出、染色、縫製プロセスにおいて**生産性向上プログラム**も実施。
- エコ素材のコットンリンターを現地の綿花農家から**正当な価格で購入することにより、現地農家の新たな収入源**に。



AsahiKASEI

取組み事例から見える共通項

- 各企業がコア事業に密接な分野で、**時間を切った定量的な目標・ターゲットを設定**している。
- 長期目標を設定し、**コア事業**に結び付けることが重要。
- **官民パートナーシップ**や**マルチ・ステークホルダーとの協力**で実施するケースも多い。
- 各事業における**分野・セクター間の相互便益**を理解し、スケールアップに役立てることも重要。
- まず、**バリューチェーンにおけるSDGsへの貢献度（正・負の影響も）の検討、優先課題・分野の同定**が必要。

SDGS 実施プロセス (IGES案)

SDGsとは？

1

改善を行う

- ・ 進捗の評価
- ・ 行動計画の改訂

5

はじめに

- ・ 既存計画との関連性
- ・ 優先分野の検討
- ・ キャパシティの検討

2

実施を開始する

- ・ 行動計画に対する実施手段（資金、技術、キャパシティ等）を配分
- ・ 行動開始

4

実施に向けての準備

- ・ 活動の選定
- ・ ターゲット・指標の設定
- ・ 行動計画のドラフト・改訂

3

セクター別の知見のインプット
(例：水、廃棄物、大気汚染、交通、
エコシステム)

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP) (2016年7月12-13日、パシフィコ横浜)

- テーマ : *Translating Knowledge into Actions towards 2030 and Beyond* (パリ協定とSDGsの効果的な実施に向けて)
- COP21気候変動大使を交えた「基調講演」、G7富山環境大臣会合「特別セッション」、「気候変動とSDGsをグローバルな観点から議論する全体会合」、「主要アクターの役割に焦点を当てたサブプレナリーセッション」、とテーマ別分科会など、計13セッションを開催。
- 参加登録 : <http://www.iges.or.jp/isap/2016/jp/>



ISAP 2016

